

# 「プロンプト・エンジニアリング」とは

## チャットGPTを使いこなす

対話型生成AI「チャットGPT」が普及し、その実務利用に注目が集まっています。そこで、チャットGPTを使いこなすための肝である「プロンプト（指示）」の書き方について解説します。

中小企業診断士事務所 ハッシュタグ 代表  
中小企業診断士

居戸 和由貴

この60%までは、適切なプロンプトを与えることで、最大限に引き出すことが可能です。残りの40%に関しては、人間がその内容を確認し、必要に応じて修正や加筆を行なうことで、最終的な品質を高める必要があります。

### アウトプット品質を高める プロンプト・エンジニアリング

生成AIのアウトプット品質を高めるコツは、プロンプト・エンジニアリングです。

ここでのプロンプトとは、生成AIに成果物を生成させるための指示、質問などの入力内容それ自体のことです。

プロンプト・エンジニアリングとは、生成AIに入力するプロンプトを最適化する手法や技術を指します。

プロンプトの質は、生成AIのアウトプットの品質に直接、大きな影響をもたらします。

プロンプトを適切に処理するために、プロンプトには明確かつ具体的な指示と、精緻な背景情報を盛り込むような工夫が必要です。

### 生成AIのアウトプットの 品質と人間の役割

く、使用者の指示や条件の与え方にも原因があると考えられます。そこで本稿では、チャットGPTを用いて、生成AIをより効果的に活用するためのプロンプト（生成AIに与える指示）のコツについて解説します。

生成AIの進化には目を見張るものがあります。それでも現状の技術では、100%の品質を持つ完璧なアウトプット（出力）を期待するのは難しいのが実情です。

生成AIのアウトプットの品質は、現段階でおよそ60%程度と考えます。

近年、生成AIの活用が急速に広がってきました。特に「チャットGPT」は、多くの中小企業で利用可能性があります。

このような生成AIは、テキスト作成、文章の校正、アイデア出

しなどの用途で活用でき、その活用の幅は日々拡大しています。しかし、多くの利用者からは、「期待した答えが得られない」といった声が上がっています。

これは、AIの問題だけでなく

なお、東京商工会議所の『中小企業のための「生成AI」活用入門ガイド』には、プロンプトのポインタとして図表1の4つが挙げられています。

## プロンプト作成のポイント

ここまでのプロンプト・エンジニアリングに関する解説を踏まえ、実務を想定したプロンプト例

<p>① 指示は明確に</p> <p>前提情報、条件、出力方法等を明確に記載</p> <p>〈例〉〇〇文字以内、箇条書き</p>	<p>② AIの役割を明示する</p> <p>役割を明確に記載</p> <p>〈例〉あなたはプロの校正者です</p>
<p>③ # (ハッシュタグ記号)を活用</p> <p>AIが区別しやすいように、各項目に#を用いて区切る</p> <p>〈例〉#指示、#条件</p>	<p>④ 逆質問をさせる</p> <p>不足情報の補完と詳細な回答の取得のために記載</p> <p>〈例〉追加で必要な情報があれば私に質問してください</p>

東京商工会議所『中小企業のための「生成AI」活用入門ガイド』を元に筆者作成

と、それに対するチャットGPTのアウトプットを紹介します。

議事録の整理にチャットGPTを活用したケースです(図表2)。

[illegible]

※GPT-4.0を使用

このケースでは、以下のプロンプトを作成しました。

まず、「指示」「条件」「議事メモ」「アウトプット例」を「#(ハッシュタグ記号)」で区切り、

入力します。

「#条件」では、チャットGPTに役割を与え、日時・出席者などの会議要件も指定しています。

「#議事メモ」には、すでにあるテキストデータを記載します。

「#アウトプット例」には、出力したい形式を指定します。今回

図表3 シフト管理のプロンプトとアウトプット例

#### #指示

従業員の{#希望シフト}と{#制約条件}に基づいて、月間のシフトスケジュールを表形式で作成してください。

#### #希望シフト

- 従業員A:月曜日から金曜日に働きたい。ただし、連続で3日以上働かない。
- 従業員B:水曜日から日曜日に働きたい。土曜日は必ず働く。

#### #制約条件

各曜日には最低2人以上の従業員が必要です。金曜日と土曜日は3人配置してください。

以下は、従業員の希望シフトと制約条件に基づいて作成した月間のシフトスケジュールです。  
このスケジュールは、各従業員の希望と制約条件を考慮し、バランスを取りながら作成しています。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
従業員A	○	○	○	—	—	—	—
従業員B	—	—	○	○	○	○	○

⋮

- ① 「従業員Aの3日連続で働かない」という希望が反映されていないようです。

または、「#制約条件」を与え直す

#### #制約条件

月曜日から木曜日、日曜日は従業員を2人配置してください。  
金曜日と土曜日だけ3人配置してください。  
Aは連続しない3日間働きます。そうでなければ、連続しない4日間働きます。

※GPT-4.0を使用

生成AIを活用すること、業務効率化などのメリットがある一方で、内容に誤りがある可能性はもちろん、著作権侵害、個人情報・機密情報

### 生成AIの利用リスク

以上のように、明確なプロンプトを設定することで、求めるアウトプットが得られ、業務効率が向上します。

本稿では誌面の都合上省略しますが、いずれの処理でも正しいシフト表が作成されました。

ただ、今回は「#希望シフト」に反して、従業員Aが3日連続で働くシフト表が出てきてしまいました。この場合の処理として、

- ① 対話的に再質問する
- ② プロンプトを見直す

の2通りの処理が考えられます。

の漏えいなど、法的なリスクも伴います。

これらのリスクから、生成AIの導入には、ルールの整備と社内周知が必要です。

適切なガイドラインを設定することで、これらの法的リスクを軽減することが可能です。たとえば、社員がチャットGPTを利用する際のルールを明確にし、個人情報の取扱いなどを定めることが重要です。

ちなみに、日本ディープラーニング協会が公開している『生成AIの利用ガイドライン』には、利用時のリスク、権利に関する事項等がまとめられており、中小企業が生成AIを導入するための手引きとして役立ちます。

プロンプトの基本とその実例について解説しました。具体的なプロンプトのコツを理解し、業務に取り入れることで、業務効率の向上やアイデア出しなど、多岐にわたる分野での生成AIの活用が期待できます。

生成AIの利用に関するリスクを十分に理解し、適切な対策を講じたうえで、きたる生成AIの時代に対応しましょう。

おりとかずゆき

保険会社、人材会社、コンサルタント経験を経て、2021年中小企業診断士として独立。マーケティングやデジタル技術に強みがあり、顧客の売上拡大を第一の課題とする。